

NADPZ NEWSLETTER

MAY/ JUNE 2025

種の保存と強化：ザンビア自然農法にとって希望に満ちた季節



ザンビアの冬は、ただ天候が変わるだけでなく、農業暦における重要な時期を意味します。この時期は、畑から種を収穫し、次の農期に向けた準備を始める大切な時間です。

昨年は深刻な干ばつと不作に見舞われましたが、今年はずっと良い収穫が得られ、私たちは大きな安堵と感謝の思いでいっぱいです。この回復により、種の保存と種子バンクの再構築という、ザンビアでの自然農法の持続可能性に欠かせない取り組みを進めることができるようになりました。

今季の収穫は、自然農法プロジェクトの各地における種子備蓄の補充に焦点を当てています。収穫・準備された種は、11月の植え付けシーズンに先立ち、ムムブワ、ペンバ、チパタの各プロジェクト拠点に配布される予定です。これは、地域ベースの種子システムを通して、食料主権とレジリエンス（回復力）を強化する継続的な努力の一環です。



ムババラ地区では、自然農法の模範農家たちが協力して、収穫から最も強く健康な種子を丁寧に選別しています。選別された種は9月中に保存・包装され、10月には配布の準備が整えられます。

収穫されたすべての種が保存されるわけではありません。一部はトウモロコシ粉に製粉され、来月される自然農法ショーに参加する農家たちの食料として提供されます。このショーは、自然農法の実施者と地域社会が知識を分かち合い、伝統的な農法を称え、自然農法への共同の誓いを新たにす年一度のイベントです。



現在、NADPZ（ザンビア自然農法開発計画）の種子バンクには、「Go by Red」「Eight Line」「Silutuba」といった貴重な在来種が含まれています。今後は、他州からの伝統品種も収集し、種の多様性をさらに広げたいと考えています。しかし、この目標には課題もあります。最近の政府による種の保存に関する規制強化により、地元の品種にアクセスすることがますます困難になっています。それでもなお、私たちはザンビア各地の多くの農家が、在来種の力、回復力、そして文化的価値を信じ続けていることに励まされています。

私たちは力を合わせて種子バンクを拡充し、地域の知恵を強化し、「種を守り、分かち合う権利」を守り続けます。ザンビアの農業の未来は、この努力にかかっています。

20周年、自然農法ショーの準備

ここ数か月は、20周年を迎える自然農法ショーの準備で忙しくも充実した日々を過ごしています。この特別な展示会には、ムババラ、ペンバ、チカンタ地区の自然農法メンバーが集まり、ムババラ地域の一般住民にも公開されます。

このショーは、2006年に秀明インターナショナルの支援によりムババラ地区で自然農法プロジェクトが開始されてからわずか1年後に始まりました。それ以来、毎年恒例の行事となり、農家の成功事例や自然農法の実践によって得られた成果を発表する場となっています。また、地域社会に自然農法の価値と実践について広く啓発する貴重な機会でもあります。

今年はプロジェクト開始から20周年という大きな節目にあたります。この記念すべき年にあたり、日本と香港から35名の秀明青年代表をお迎えできることを大変光栄に思います。現地の建設チームとリーダーたちは、国際的なお客様だけでなく、地域住民すべてを温かく迎え入れられるよう、準備に全力を尽くしています。

この大きな節目を皆さんと共に祝い、自然農法運動のさらなる発展を目指していききたいと思います。



技術と持続可能性の育成：学生たちは野菜と共に未来を育てる

野菜栽培は、農家の生活において極めて重要です。それは、家庭に栄養価の高い食料を提供するだけでなく、閑散期の副収入や充実感のある活動にもなります。

カベタ職業訓練センターでは、学生たちがこの知識を実践しています。献身的に協力しながら、年に4回の作付けを行い、季節に応じた作物を栽培して野菜園を豊かに維持しています。

今月、学生たちは冬の作付けに取り組んでおり、レイプ、キャベツ、トマトを栽培中です。この野菜園は、実践的な農業技術を身につけるための学びの場であると同時に、プロジェクト滞在中の食生活を支える役割も果たしています。

また、学生たちの栽培した一部の野菜は、来月の自然農法ショーで来賓に提供される予定です。これは持続可能性と学生の努力を祝う、まさに象徴的な場となるでしょう。



ペンバとムババラでの会場整備が進行中

自然農法ショーの会場であるペンバとムババラでは、現在準備が着々と進められています。自然農法の実践をより分かりやすく紹介するための新しい展示スタンドが建設されており、見物客がダンスや歌などのパフォーマンスを快適に楽しめるよう、日よけ付きの常設観覧シェルターも整備中です。



ペンバに新しい井戸が命をもたらす

「水は命」——ペンバ地域では、地形の厳しさから清潔な水へのアクセスが長年の課題でした。既存の井戸は故障しており、学生や教師たちは信頼できる水源を失っていました。しかし、このたび秀明インターナショナルの寛大なご支援により、新しい井戸が無事に設置され、学びと生活の場に不可欠なこの貴重な資源へのアクセスが復活しました。

